

Engineering Accelerator

エンジニアリングチェーン × サプライチェーンの融合で、
 新たな価値を創造します。
 イノベーションとQCDを実現し、データとAIを駆使した
 データドリブンイノベーションにより、迅速な意思決定、
 ナレッジ活用、自動化の推進をご支援します。



Engineering Acceleratorが実現すること

Engineering Acceleratorは、PLM（Product Lifecycle Management）やMOM（Manufacturing Operation Management）に蓄積されたノウハウと実績データを活用し、エンジニアリングチェーンの進化を加速します。顧客・業務・データの各視点から設計開発をデジタル化し、「AI×データ」の力でレベルアップすることで、「市場競争力の強化」と「顧客価値の最大化」を実現します。



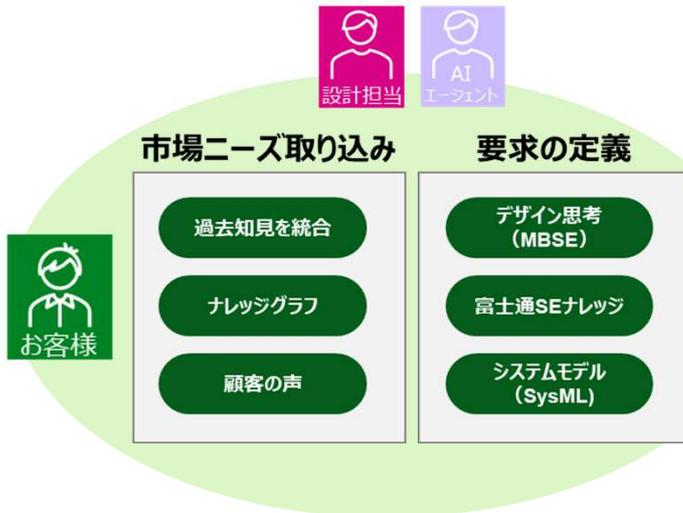
Engineering Accelerator

Engineering Acceleratorの3つの"つながる"

1. 顧客とつながる

- Fujitsu Product Development Engineering Service -

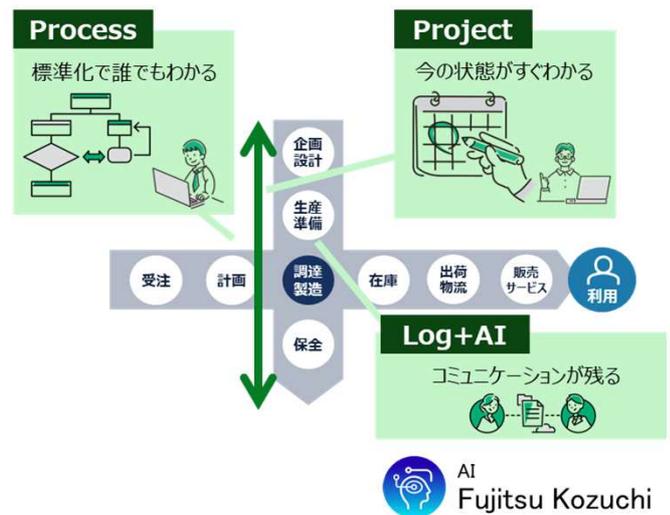
"デザイン×システム"思考 x AIの導入により、市場ニーズ変化へのフレキシブルな対応を支援します。また、設計エージェントAIが設計品質を向上させ、最終製品の価値を高めます。



2. 業務をつなげる

- Fujitsu Product Development Process Management -

基幹システムの部門横断プロセスを標準化し、コミュニケーションの可視化を実現します。また、AI活用でナレッジ共有を促進し、業務効率・品質向上と高度な判断を支援します。



3. データでつながる

- Fujitsu Decision Making Optimization for Engineering -

エンジニアリングの進化には、PLMやMOMといった長期的な全社システムの整備と、短期的でアジャイルな業務変革が必要です。Engineering Acceleratorは、既存システムはそのままだに、データとAI駆動で短期的な取り組みを実現します。



- 将来を見据え、主要な業務をすべて「グローバルでの機能最適化」で標準化・システム刷新
- 長期的に、正規化されていないデータの整備 (想定期間：3~5年)



- 今すぐ実現させたいができない課題に着目
- 既存のシステム・データはそのままだに、1.5ヶ月で既存データを使って組織変革



富士通株式会社

クラウド&ビジネスアプリケーション事業本部 Sustainable Manufacturing事業部
E-mail : contact-engineering-accelerator@cs.jp.fujitsu.com

お問い合わせ先

Fujitsu Engineering Accelerator

